様式６号の７

学番	3	県立新潟南高等学校

令和３年度　　学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画	
学 校 運 営 方 針	・生徒が生き生きと学び、自分の成長が実感できる教育活動を行う。 ・失敗を恐れず果敢に挑戦し、粘り強く取り組む生徒を育て、生徒の進路希望を実現する。 ・感性豊かで、他者と協働しながら社会を切り開くリーダーとなり得る人材を育成する。 ・教職員にとって働きがいを感じる職場であるよう、業務の精選、環境の改善に取り組む。

昨年度の成果と課題	令和３年度の重点目標	具体的目標
〈成果〉 ○教務部 ・ICT 環境の整備と授業への活用が広まった。 **○進路指導** ・国公立大(延べ244名、実人数210名　58.7%) ・難関大学(20名、5.6%) 初めの共通テストにも的確な情報収集・情報提供ができ、成果に結びついた。 **○ＳＳＨ総務部** ・「江風グローバル研修（日本海・アジア文化圏交流)」を開催し、アジア地域の高校生と英語による日常的な交流を行い、国際性を高めることができた。 **○生徒指導** ・校内規定の見直しを行った。 **〈課題〉** ・精選した教育計画の作成 ・難関国公立大学進学希望者の増加への対応 ・高大接続改革への対応 ・交通安全指導の徹底 ・ＳＳＨ事業の中間評価ヒアリングの結果を元に、研究開発手法の更なる改善に努める。	○進路意識の啓発と高い進路希望の実現 ○個性の伸長と文武両道の実践	・定期的な情報提供により進路意識の啓発を行う。 ・大学講義等を工夫して実施し、探究心や職業観を深め、主体性を育む。 ・課題の精選と課外活動の充実に努め、文武両道を実践する。 ・模試活用と個別面談の充実を図る。 ・東大、京大、一橋大、東京工業大、国公立大医学部医学科に、５人以上の合格者を輩出し、国公立大学の実合格者数の割合60%以上、難関大学合格者30名以上を目指す。
	○基本的生活習慣の確立 ○服装指導と交通安全を重点とする生徒指導の確立	・毎日の遅刻ゼロを目指す。 ・正しい身だしなみや挨拶の習慣を身につける。 ・自転車運転マナーを遵守させ、交通事故ゼロを目指す。
	○家庭学習習慣の定着 ○「第１志望の大学に合格」できる学力養成	・家庭学習時間の確保(学年+2時間)。 ・難関大学入試問題の分析等により、指導の充実を図る。 ・学習が遅れがちな生徒に対しては丁寧に個別指導を行う。
	○ＳＳＨ事業の推進	・全校体制で課題研究に取り組むことを通し、「探究力」を獲得させる。 ・郷土を知り、貢献することを当事業の軸に据え、自治体や近隣の大学等と連携し、社会との接続を意識した研究開発を行う。
	○いじめ防止対策の徹底	・生徒対象アンケートによる実態把握を行い、早期発見に努める。 ・教職員研修により、いじめ対応に係る資質や能力の向上を図る。 ・いじめ防止対策及び発生した場合の対応を組織的に行う。
	○ワークライフバランスの意識向上	・ワークライフバランスの観点から「時間外の勤務時間を１ヶ月45時間以内」、「時間外の勤務時間を１年間360時間以内」にすることを目標とする。

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
進路意識の啓発と	進路情報の提供	個人面談年４回以上、学年ＰＴＡ年２回以上、学年便りの適宜発行など、生徒や保護者との相談及び情報提供を効果的に行う。		
高い進路	探究心や職業観	大学・職場訪問、大学講義体験、修学旅行、進路講演会などを通し		

希望の実現	の育成	て、探究心や職業観を育成し、自ら考え、自ら学ぶ姿勢を涵養する。			
	文武両道の実践	課題の精選に努め、難関大学志望者に対応する課外講習や個別指導の充実、学校行事・部活動の活性化等を図り、主体的な行動を促す。			
個性の伸長と文武両道の実践	模試の活用と個別面談の充実	課外講習や模試の事前事後指導を通して、生徒に具体的な目標を設定させる。模試結果から生徒の学習状況を把握し、適性を見極める。			
		年間を通じて継続的に個別面談を行い、個性を見出し、気づかせ、伸ばす指導を実践し、学びのポートフォリオづくりの一助とする。			
基本的生活習慣の確立	服装指導	女子のスカート丈の指導に加え、リボンの正しい着用を徹底する。積極的に声がけを行い、挨拶を励行する。			
	交通安全	自転車の交通安全指導を通学路で実施する。 交通安全指導を実施し、交通事故防止への意識を高める。			
	携帯電話・ＳＮＳの適切な使用	携帯電話の使用についてルールを守らせる。ＳＮＳやＬＩＮＥ等による、ネットトラブルに巻き込まれないよう指導する。			
	保護者との連携	ＰＴＡ活動・保護者と連携し、基本的な生活習慣（頭髪、服装、遅刻、早退）を確立させる。			
	心のケア	学年・保健部・臨床心理カウンセラーの連携により、生徒の悩みに早期に対応して、不登校等の予防を図る。			
学力向上	学習習慣の確立	朝学習と家庭学習課題を充実させ、家庭学習時間（学年＋２時間）を確保することにより基礎学力を定着させる。			
	成績上位者対応	長期休業中に講習を実施し、学力の向上と発展的学習を行う。			
	成績下位者対応	成績不振者には、学年と連携し、講習会や個別指導を実施する。			
ＳＳＨ事業の推進	「探究力」を身に付けるための課題研究充実とＴＡＣＣプロジェクトの深化	「江風ＳＳⅠ」、「「江風ＳＳＧ」、「「江風ＳＳⅡ」、「江風ＳＳⅢ」での指導に加え、学校の教育課程全般を通じ全校体制で生徒の「探究力」向上を図る。			
		主体的な課題発見能力・課題解決能力を育成するため、「課題研究」を軸としたＳＳＨ事業及び学校設定科目の開発・研究を行う。			
	江風グローバル研修プロジェクトの推進	海外交流を通して諸外国との継続的な科学交流を進めることにより、国際感覚や語学力・コミュニケーション能力・ディスカッション能力を養い、未来を担う科学技術系グローバル人材を育成する事業の開発・研究を行う。			
	課題研究に対する意欲の向上	学校全体で積極的に課題研究に取り組み、科学コンテスト等課外活動に積極的に参加させることで生徒一人ひとりの意欲を喚起する。			
	情報公開と成果の普及	課題研究発表、Ｗｅｂページへの事業内容報告や開発した教材の掲載、研究会や学会での発表により、研究成果の普及を図る。			
いじめ防止対策	いじめ認知の推進	生徒対象アンケートを年３回以上実施して、生徒の実態把握に努める。また、教職員対象の研修会を実施し、いじめの早期発見、いじめへの対応に係る教職員の資質や能力の向上を図る。			
	いじめ事象への適切な対応	いじめ事象が発生した場合、管理職への報告、関係生徒からの事情聴取、及び指導、保護者への説明等を組織的に行う。			
管理運営	ワークライフバランスの意識向上	・分掌・学年・教科において年度に１事業または１行事を削減または軽減化をを目標に、業務及び行事の精選について提案・協議を積極的に行う。 ・年度に１箇所の職場環境の改善を目標に、安全衛生委員会において、職場環境改善の提案・協議を行う。			

成果		総合評価